

新年度予算に反対

暮らし優先の組替え提案

2022年度の八千代市一般会計予算は、コロナ禍が長期化する中で編成されたものですが、国からのコロナ対策費をそのまま活用するのみです。他の自治体のように市独自の支援策を実施すべきです。

単独給食校廃止のための解体工事費については、まだ使える施設を壊す必要はないと考えます。災害時の運用も見込まれることから、給食室の解体は認められません。

市の財政は改善し、財政調整基金は、現在、40億円になっています。基金の一部を市民のために使うべきと考えます。防災倉庫は、専門家による点検が3年以上も行われていません。災害に備えることは、市の責任です。

倉庫の点検と備蓄品の補充を求めます。生理用品について、習志野市は、防災備蓄品を運用し、公共施設に配置しています。八千代市の防災用生理用品は、使用に適さないため昨年廃棄されました。予算を計上し、公共施設に配置することを求めます。

以上の理由から日本共産党は、一般会計予算に反対

東葉高速鉄道

運賃値下げは市民の願い

「東葉高速鉄道の通学定期の割引率上げの早期実現を求める決議」が、昨年12月の議会でも可決され、その後の市の働きかけについて質問しました。

市は、東葉高速鉄道の取締役会で「コロナ禍の不安要素があり、経費節減と収

入の増加策に全力で取り組むべき時期と説明を受けた」と答弁しました。残念ながら、八千代市議会の決議は、生かされませんでした。



コロナ対策緊急申し入れ(2月15日)

日本共産党は、今年10月に運賃値下げを実施する北総鉄道が、地域の魅力や住みやすさを、ニュースで発信していることを例に挙げ、利用者増加のための前向きな取り組みが必要であると訴えました。

また、東葉高速鉄道が抱える有利子負債についても、後から出来たつくばエクスプレスのように無利子にするよう国へ求めていくことを要望しました。

介護保険事業予算に反対

保険料を引き下げよ

介護給付費準備基金は、2020年度末に10億6千万円でしたが、2021年度末現在、さらに積み上がり、14億4千万円と3億8千万円も増えています。

市は、第7期の介護保険事業計画にあたって、「急激な引き上げは行わない」としながら、約2千円の値上げをしました。

第8期(2021年度から3年間)には、保険料金算定の基準額を、5万6千940円から6万2千160円に5千220円も大幅に値上げしています。

日本共産党は、準備基金を活用した保険料引き下げを求めており、市民に負担増を押しつける介護保険事業予算に反対しました。

危険な通路を拡幅せよ

八千代台駅南のガードは、車1台分の道幅しかなく、見通しも極めて悪いため、「危険な道路」として、マスコミにも取り上げられています。ガードに車が衝突して、運転手が亡くなる事故も発生しています。

八千代市は、京成電鉄との間で、「包括連携協定」を締結し、個別・具体的な事業については、事業の担当部局で協議するとしています。

ガード下通路の拡幅が実現すれば、車と歩行者を分離し、住民が安心して通行できるようになります。また、コミュニケーションバスの運行も可能となります。速やかに京成電鉄と協議を行うよう市に求めました。



八千代台駅南ガード

予算組替え動議提出

財政調整基金40億円活用

日本共産党市議団は市民生活を守るため、三田議員と共同で2022年度八千代市一般会計予算と国民健康保険特別会計予算の組替え動議を提出しました。

組替え内容は、以下の通りです。

一般会計予算の組替えの内容

- (1) 災害対策及び学校教育環境整備
 - 防災備蓄品の補充、米本団地内の小学校跡地に学童保育所の設置、未配置教員の補充、学校図書の実質、学校体育館の空調設備整備、単独給食校の運営継続
- (2) 子育て支援
 - 子ども医療費助成の対象年齢拡大
 - 学校給食費の補助
- (3) 高齢者支援
 - 配食サービス費の補助、交通不便の解消
- (4) 市民の安心・安全、社会教育環境整備等
 - 公共施設への生理用品の配置、通学路の安全対策、地域図書館の充実、新川千本桜の植替え

国民健康保険事業特別会計予算の組替えの内容

- ・中学生以下の子どもに係る均等割相当額を減額する(子ども一人当たり35,900円を0円に)
- ・保険料を1世帯当たり5,000円引き下げる。

日本共産党 八千代市議団

植田 進	04771488719754	0477148515089
堀口 明子	04776715030	04771488172007
いはら 忠	04771488172007	0477149480009
いしかわ 英樹	0801123918132	

零細業者に課税を強いるインボイス制度は中止せよ

来年10月に実施を予定している消費税のインボイス(適格請求書)制度は、市内4割の事業者である免税業者やフリーランスに納税義務を課すものです。年間の売上高1千万円以下の業者は現在、消費税の納税を免除されています。インボイス制度は、消費税も含めて、インボイス制度は廃止すべきと、八千代市からも声を上げることが求められました。

【日時】 奇数月 第3木曜日 午後2時～4時

【場所】 市役所4階 日本共産党控室

無料法律相談会

弁護士が相談に応じます

ブラック企業雇用問題・サラ金・医療・介護・年金・税金・教育・子育て・生活保護・地域の要求。何でもどうぞ！ ※予約が必要です

緑が丘西地域の学校が足りない

子どもを犠牲にするな

緑が丘西地域では、人口増加による学校不足が深刻です。現在建設中のマンション（来年11月下旬入居予定）の子どもだけが遠く離れた小学校へと通学区域を変更されてしまいました。また、中学校がないために遠くはなれた学校まで通っています。「教室数に余裕がない、通学路が危険」と悲鳴が上がっています。

2002年に認可された緑が丘西地域の土地画整理事業は、面積約140ヘクタール、人口1万4千人、小学校2校、中学校1校の計画でした。しかし、市は児童数が減少すると見込み、面積と人口はそのままに、学校の計画を小学校1校のみに変更してしまいました。学校不足の原因は、市の見通しの甘さにあります。日本共産党は、このような問題を議会でも指摘し、関係部局が連携して問題解決することや、中学校の設置も求めました。



八千代台地域の広域避難場所 習志野演習場で大丈夫？

八千代台地域の広域避難場所は、習志野演習場が指定されています。しかし、万一の時に、どこから入り、誰の指示に従って避難するのか、市に問い合わせましたが、すぐには答えられませんでした。後日の回答では「国道296号線の船橋市側の入り口から避難する」「避難誘導は特に決められていない」とのことでした。災害時、演習場内に自由に入入り出来るのか、市民は不安に思っています。

3月議会の一般質問で、この点を追及しましたが「これから具体的に決める」というものでした。演習場内には、火薬庫など危険な場所があり、自衛隊員の誘導なしに立ち入ることは出来ません。

住民税非課税世帯への給付金 すみやかに実施せよ

国の2021年度補正予算に新型コロナウイルス感染症で疲弊している生活困窮者に1世帯当たり10万円の給付が盛り込まれました。これを受けて八千代市でも、1月の臨時市議会で補正予算が可決され、現在執行されています。八千代市は、2021年の住民税非課税世帯は約18,000世帯と見込み、確認書の送付は1月31日時点で、13,500世帯に送付しているとしています。政府は、プッシュ型で、速やかな給付につなげるよう各自治体に求めています。特に生活保護利用者には、確認書を発送するまでもなく、口座に振り込んでいる自治体もあります。しかし、八千代市では、縦割り行政の下、連携が取れていません。日本共産党は、速やかに給付することを、市に求めました。

交通弱者をなくせ 公共交通の拡充を

市独自の公共バス交通である「ぐるっと号」が八千代台地域を除いて平成26年に廃止されました。その後八千代市の公共交通対策は全く進んでいません。アンケート調査では市内の3割の人が不便であると回答しています。市民からは「市役所に直接行くの」

千葉県内では、5市でパートナーシップ宣誓制度やファミリーシップ届出制度を導入しています。同性、異性を問わずに互いを人生のパートナーとする二者のパートナーシップの宣誓であり、市が公的に証明するものです。

八千代市にも パートナーシップ条例を

千葉県内では、5市でパートナーシップ宣誓制度やファミリーシップ届出制度を導入しています。同性、異性を問わずに互いを人生のパートナーとする二者のパートナーシップの宣誓であり、市が公的に証明するものです。

八千代市は、広場を維持管理運営するのは一般社団法人であり、法人設立準備委員会の委員が、おおむね理事や社員となる見込みと

八千代台東第2小学校跡地 地域活性化と防災の場に

地域の活性化と防災などの交流の場として、地域住民からも期待の声寄せられています。

今年度の当初予算に、第1期分として約2億3千万円が計上されました。

八千代市は、広場を維持管理運営するのは一般社団法人であり、法人設立準備委員会の委員が、おおむね理事や社員となる見込みと

地域の活性化と防災などの交流の場として、地域住民からも期待の声寄せられています。

今年度の当初予算に、第1期分として約2億3千万円が計上されました。

八千代市は、広場を維持管理運営するのは一般社団法人であり、法人設立準備委員会の委員が、おおむね理事や社員となる見込みと

2022年3月議会 日本共産党市議団調べ 主な議案・請願・日本共産党提出の発議案に対する議決結果

議案・請願・発議案	議決結果	賛成数 反対数	日本共産党					自由民主党					市民クラブ				公明党			新未来		菅野	三田	宮内				
			飯川	伊原	植田	堀口	伊東	江野澤	大澤	大塚	辰巳	塚本	成田	林利彦	嵐	小澤	澤田	西村	花島	林隆文	木下				正田	末永	立川	緑川
令和4年度八千代市一般会計予算に対する組替え動議	否決	賛成5 反対22	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	
令和4年度八千代市国民健康保険事業特別会計予算に対する組替え動議	否決	賛成5 反対22	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	
令和4年度八千代市介護保険事業特別会計予算	可決	賛成22 反対5	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
令和4年度八千代市後期高齢者医療特別会計予算	可決	賛成22 反対5	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
国保料引き下げを要望する請願書	不採択	賛成5 反対22	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	
ジェンダー平等の実現に向け男女賃金格差の是正に取り組むよう求める意見書	否決	賛成8 反対19	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	
新型コロナウイルス感染症対策の拡充を求める意見書	否決	賛成8 反対19	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	
日米地位協定の抜本的な見直しを行うよう求める意見書	否決	賛成7 反対20	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	